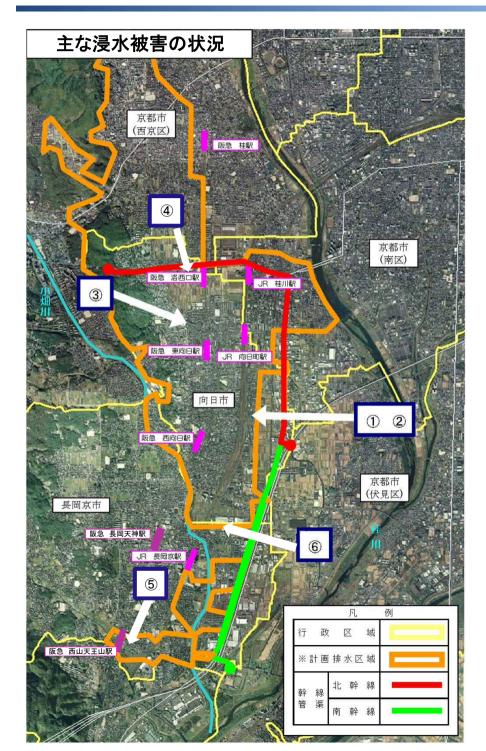
【いろは呑龍トンネル整備前の浸水状況】





平成20年7月 前田地下道 (向日市)



平成9年8月 前田地下道 (向日市)



平成11年6月 阪急洛西口駅西地区 (向日市)



平成11年6月 阪急洛西口駅西側 (向日市)



平成25年9月 西山天王山駅前 (長岡京市)



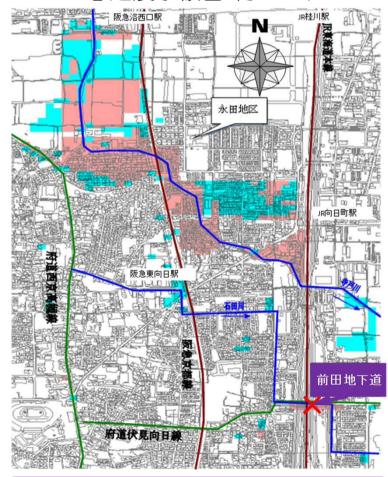
平成10年8月 府道伏見柳谷高槻線 (長岡京市)

【北幹線の整備効果①(平成25年台風第18号に対して)】

- 北幹線の整備により約800戸が被害を免れ、被害軽減額は約100億円と試算
- 時間最大雨量41mmの雨により北幹線の貯留率が100%となった
- ⇒北幹線整備後、この地域で発生した最大の出水において、大きな効果を発揮した

北幹線整備前

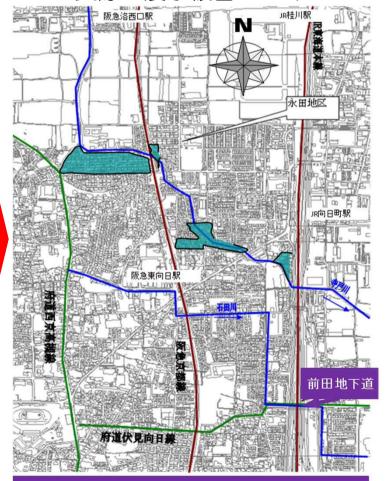
想定浸水被害約900戸



前田地下道が冠水し通行不能

北幹線整備後(H23~)

実際の浸水被害 106戸

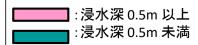


前田地下道の冠水なし!



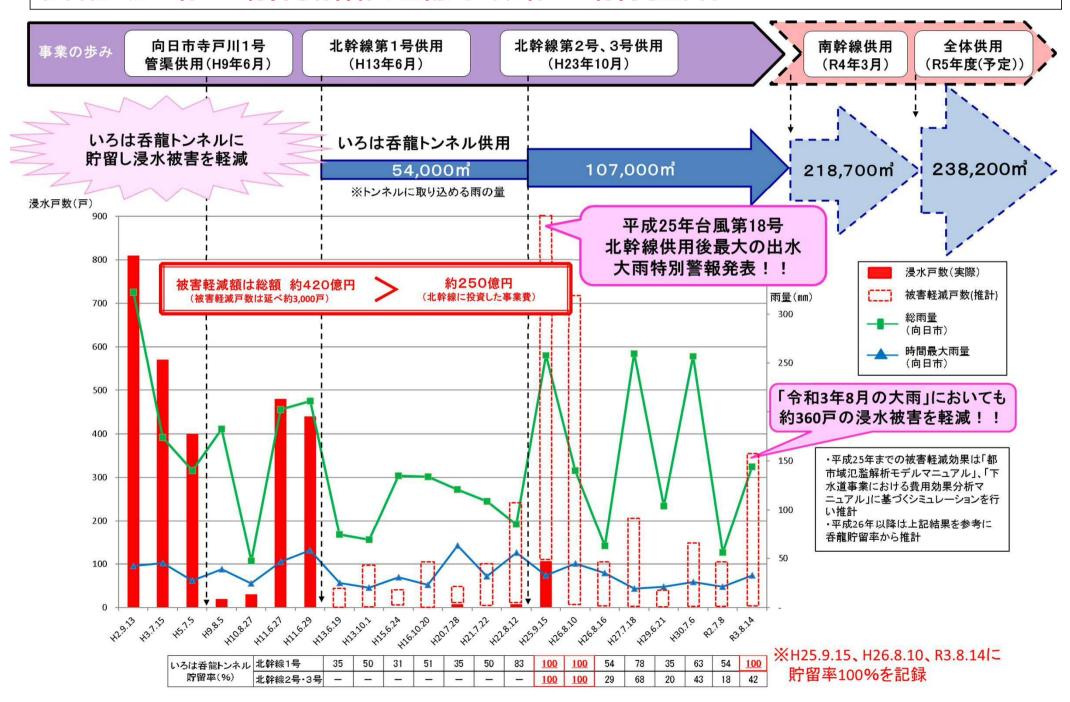
北幹線 貯留率100%

総 雨 量 275mm 時間最大雨量 41mm



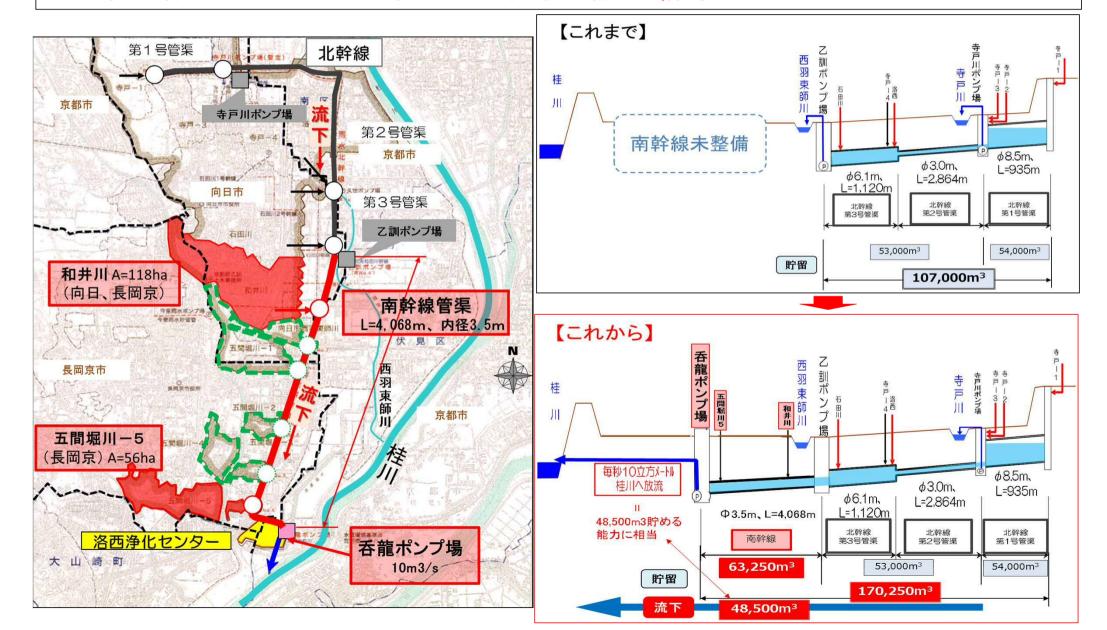
【北幹線の整備効果②】

被害軽減額は約420億円と北幹線の整備に要した約250億円を上回る



【南幹線・呑龍ポンプ場の整備効果】

- 貯留量がこれまでの11万m³から約1.6倍の17万m³に増加
- 新たに長岡京市域の雨水を貯めることが可能 (左下図 **エリア**)
- 呑龍ポンプ場の稼働により、北幹線の雨水と併せて**桂川に流すことが可能**(最大排水量10m³/s)
- ⇒トンネルが満水になりにくくなり、**長時間の雨に対する安全性が大幅に向上**

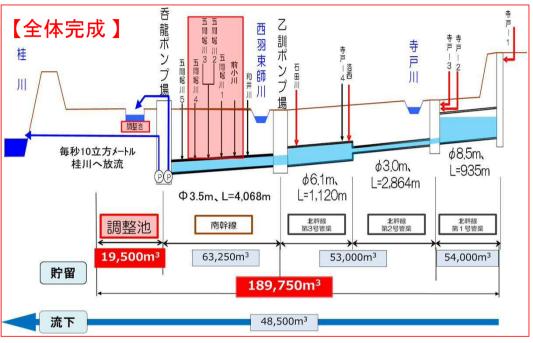


【すべてが完成すると(計画対象降雨に対して)】

- 調整池の整備により、**貯留量は約2万m³増え**、約19万m³になる
- 新たに**雨水を貯めるエリアが拡大**(左下図) エリア)
- ⇒H25年台風第18号の時間最大雨量の1.5倍に相当する大雨※に対しても浸水被害を解消

第1号管渠 北幹線 京都市 流 寺戸川ポンプ場 第2号管渠 京都市 向日市 第3号管渠 乙訓ポンプ場 石田川 和井川 A=118ha (向日、長岡京) 前小川 (向日市) A=16ha 南幹線管渠 五間堀川-1 L=4,068m、内径3.5m (向日、長岡京) A=58ha 西羽東師 五間堀川-2,3 (長岡京市) A=10ha 京都市 Ji) 五間堀川一4 (長岡京市) A=39ha 五間堀川-5 (長岡京) A=56ha 大山崎町 呑龍ポンプ場

※計画対象降雨(61mm/hr): 概ね10年に1回程度降る雨

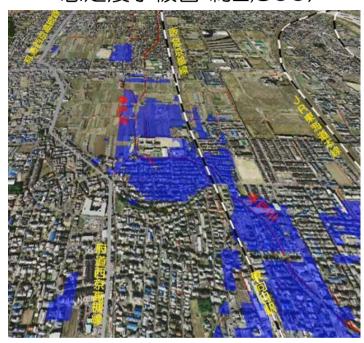


項目		北幹線 (H23~)	南幹線	
			令和4年3月	令和5年度
				(予定)
対策量 (m³)	貯留	107,000	63,250	19,500
	流下	_	48,450	_
	累計	107,000	218,700	238,200

平成25年台風第18号の時間最大雨量の1.5倍に相当する大雨に対するシミュレーション結果

北幹線整備前

想定浸水被害約2,300戸



北幹線整備後(H23~)

想定浸水被害約1,000戸



すべて完成

想定浸水被害 O戸

着色部の <u>浸水被害が</u> 解消!!

浸水想定区域

【まちづくりへの影響①】

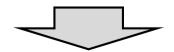
いろは呑龍トンネル事業着手後の開発状況

3つの新駅 が開業!

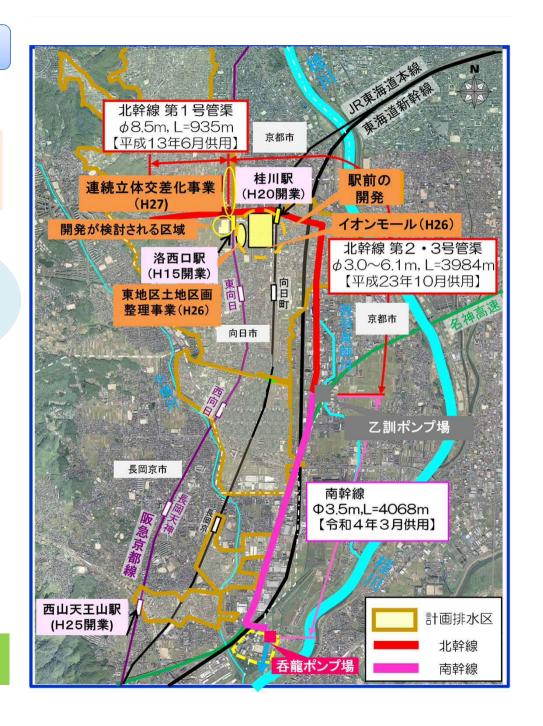
- 阪急洛西口駅(H15)
- JR桂川駅(H2O)
- 阪急西山天王山駅(H25)

商業施設の立地等、 地域の様々な開発 が進展! マンション新築 ラッシュ等により 人口集積!

- 洛西口駅東地区土地区画整理事業(~H26)
- イオンモール京都桂川(H26開業)
- 阪急連続立体交差化事業(~H27)
- ・今後も阪急洛西ロ駅西側では新たな開発が計画中

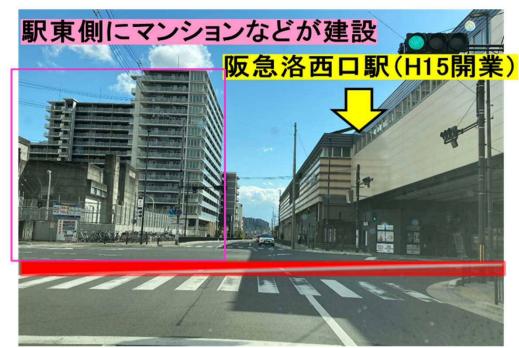


乙訓地域のまちづくりに大きく貢献!



【まちづくりへの影響②】

北幹線周辺の状況



阪急洛西口駅西側にホテルを含む複合型 を発表を募集し、10月に選定結果を発表す の学者を募集し、10月に選定結果を発表す の学者を募集し、10月に選定結果を発表す の学者を募集し、10月に選定結果を発表す の学者を募集し、10月に選定結果を発表す を発表する子定。事業化が検討される区域は約8・ ない大型の開発事業となる。

※引用 京都新聞 平成30年5月21日

